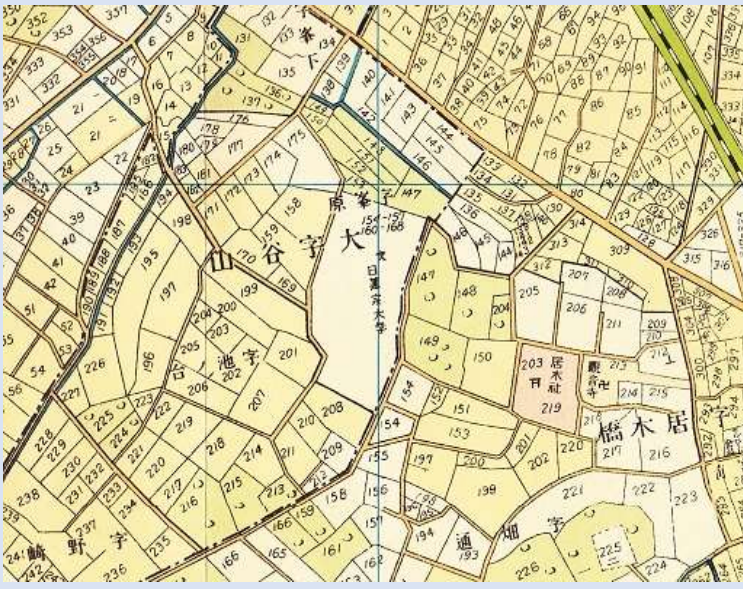


歴史 (坂)

【峰原坂】

大崎警察署から百反通りにかけて「峰原坂」です。ちょうど大崎三丁目と四丁目の境界道にあつて、立正大学・大崎幼稚園に沿っています。**峰原**とは江戸時代以前の谷山村時代からのこの辺一帯の地名で、現在の大崎三、四丁目付近にあたり、坂名はこれをとったもの



【百反坂】

大崎と西品川の境にある全長 1.1 km の通りです。その昔は「縁日」が出る賑わいで、居木神社例大祭の宮神輿渡御では、峰原坂から神社に向かう最後のクライマックスです。

一般に「ひゃくたんだか」と呼ばれていますが、古い人たちは「ひゃくだんだか」と呼んでいます。昔この坂は階段であったため百段と呼ばれていたものが、のちに路面が平坦になり、名称だけが百反となって残ったものといわれています。

坂下には、かつては J R 線路を横断する踏切がありました。その後昭和 43 年頃に百反隧道及び百反歩道橋が出来たことにより踏切は閉鎖されました。

